

## 臨時評議員会報告

9月20日(土)日本植物学会第61回大会終了後、東邦大学内で日本藻類学会の臨時評議員会を開き、次の事項について検討を行った。(出席者は11名)。

1. 英文誌出版社との契約継続について。
2. 学会費値上げの必要性について。

## 検討内容：

## 経緯

1995年度からの雑誌改革に当たり、英文誌はBlackwell社との契約のもとに出版されてきた。Blackwell社選択の理由は、英文校閲・校正を含むこと、海外(図書館等)への宣伝効果が期待されること等と同時に、信用ある海外出版社としては経費が比較的抑えられることであった。昨年来の円安傾向を反映してBlackwell社も出版費の値上げを請求せざるを得なくなり、これにより、学会側としては英文誌出版に対し、年間約90万円の経費超過が見込まれ、これに繰越金を計上すると、学会会計は計算上4年後には維持不能となる。したがって、持ち回り評議員会において、出版社の変更、学会費の値上げの2つの線で検討を続けてきた。

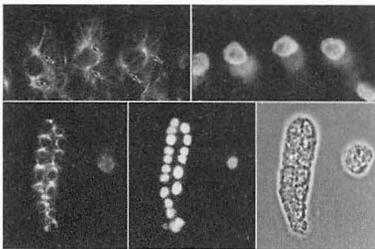
## 合意事項

- a. 1988年度はBlackwellと単年度契約し、1999年度以降の契約内容を詰める(印刷所のみを変更して経費を削減するなど)。
- b. Blackwellとの契約内容を考慮すると、他の出版社でこれと同等の経費で同等の内容を持つ契約は望めないという結論からBlackwellとの契約を継続する。
- c. 1999年度から次のように会費値上げすることを提案する
 

個人会員	8,000円
学生会員	5,000円(ただし一年毎に更新する)
海外会員	8,000円
団体会員	15,000円
賛助会員	30,000円
- d. 以上のような値上げ額は充分ではないが、不足については、寄付金や学会活動等で補う努力を続ける。

b,c,dについては、1998年3月に下田で開催される日本藻類学会第22回大会の総会で審議される予定である。





#### 表紙写真

本号では研究技術紹介として間接蛍光抗体法による微小管観察の技術を本村さんと菱沼さんに解説していただいた。表紙はその写真プレートから転載させていただいたものである。詳しい解説は本文を参照していただきたい。なお、本村さん・菱沼さんによる研究技術紹介の続編は次号にも掲載の予定である。(T.H.)